

「生体情報モニターの安全管理に向けてアラームに関する実態調査研究」に関するアンケート調査依頼

関西医科大学総合医療センターGICU研究グループでは「生体情報モニターの安全管理に向けてアラームに関する実態調査」という研究を行います。

集中治療部門では安全な生体情報モニター管理が求められていますが、不十分なアラーム管理の現状がみられます。こういった状況を改善するためには、アラームの現状調査、看護師の認識向上に向けた研修を重ねることが安全な生体情報モニター管理に繋がることが示されています。現状の報告はアラームの実態調査であり、看護師のケアや処置などによるアラームとの関連性を調査した報告は未だ認めていません。そこで、重症部門におけるアラームの実態と看護師のアラームに対する知識・管理に関する認識調査を実施し課題を明確にし改善策を検討したいと考えています。その一つとして、看護師の生体情報モニターアラームに関する認識・対処についてアンケート調査を実施します。

研究参加にあたり、以下の内容をご確認ください。

○このアンケート調査研究は関西医科大学総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

倫理委員会承認日～2027年3月31日まで

○アンケート調査への協力は自由意志です。調査に、同意いただける場合、アンケート用紙の同意欄にチェックを入れ提出いただくことにより同意を得たものとします。また、アンケート調査に協力いただけない場合でも、今後の業務に影響することはありません。

○アンケート調査の記載に10分程度の時間的制約が生じ、勤務時間外での記入ともなりえる可能性があります。回収期間を2週間としておりますので、ご負担とならない範囲で記入していただき終了していただければと思います。

○本アンケートは無記名によるものであるため、アンケート回収後に同意撤回した場合は、該当アンケートを特定することが困難であり、データを除外することはできません。

○回収したアンケート結果は、研究終了後、適切な方法で廃棄処理することとし、個人が特定されないようにします。また、調査結果は他の研究へ二次利用される場合がありますが、その際にも個人情報が特定されないよう厳重に管理します。

○回収したアンケート結果は、研究責任者が鍵を持ち鍵のかかるGICU病棟のロッカーに保管し管理します。また取得したデータについてもデータファイル、データを保管するUSBとともにパスワードを設定し、情報等の漏えい、混交、盗難、紛失等がおこらないよう管理します。

○アンケート調査の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることではなく、個人情報は守られます。

○アンケート調査に参加していただくにあたり、謝礼等はありません。

○この研究においては、本学の利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

○この研究に関して、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、下記に示す問い合わせ先まで、ご連絡ください。可能な範囲内で対応させていただきます。

*アンケート調査について

アンケート用紙に記入のうえ同封した封筒にいれ、器材室に設置した BOX に投函ください。

不明な点等ございましたら下記まで、ご連絡ください。

【問い合わせ先】

関西医科大学総合医療センターGICU 病棟

管理師長 大北 沙由利 (PHS : 49440)

ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願ひいたします。